

那覇市医師会・浦添市医師会合同開催 多職種意見交換会  
アンケート集計

(開催日)平成28年3月15日(火)

・講義・グループワーク (稲福先生)

認知症の基本的理解 ～アルツハイマー型認知症を中心に～  
行動心理徴候(BPSD)へのアプローチ

(医師)

- ・難しい症例でした。やはりBPSDへの対応は難しいですね。
- ・多職種の意見が聞けて良かった。
- ・患者さんの言うことをよく聞いて寄り添うことが重要であることを知った。(否定しない等) 本日のようなグループ勉強会が今後も必要である。企画して欲しい。

(歯科医師)

- ・グループ内での討論がためになりました。
- ・日常臨床において、認知症患者さんはたくさんいらっしゃいます。同じようなケースは多々ありますが、家族や環境などを含めると、なかなか同じであることはありません。一つ一つのケースに対して病期(病気の進行)だけではなく、患者さん自身の季節感を見守りながら診療していきたいと思いました。

(看護師)

- ・BPSDの方の勉強会をもっと家族にも教えて指導していきたいです。
- ・BPSDアプローチについて再確認できました。また、必要な時にこの資料を活用したいです。
- ・各職種の方々の意見で違った方法でのアプローチを知ることができた。
- ・とても解りやすかったです。県内の病院内セミナーや離島の方々に特に情報発信していただきたいと思いました。知識を得た方々での地域力が持てると凄いいと思います。
- ・グループワークが苦手です。負担に感じる人が多いのですが、皆の意見が聞けるので参考になります。
- ・グループワークの時間が短いように思います。それぞれ専門職の立場が異なれば、考え方も様々なので、意見交換をすることは大切だと思いました。
- ・多職種でディスカッションできて良かったです。違う視点で見ることができました。ありがとうございました。(認知症地域支援推進員)

### (薬剤師)

- ・実際の症例をグループワークに結びつける手法は以前から良い方法だと思います。
- ・認知症の人への接し方について勉強することができました。
- ・専門医に繋げて、きちんとした診断をしてもらい、対応の仕方、必要な薬剤処方も必要。
- ・明るく自由に話し合える雰囲気がとてもありがたい。勉強になりました。もっと頻繁に開催して頂きたい。
- ・認知に対する行動や環境の大切さを知ることができ、医療だけで何とかしようとせず、ケアなどの大切さを感じることができました。
- ・まだ実際に在宅活動ができていない状況での参加でしたが、多職種意見交換で多くのことを学びました。このようなグループワークにまた参加したいと思いました。
- ・認知症といっても色々あり考えさせられました。原因も多種多様で、大変だとひとつに片付けることもできない奥深さを感じました。

### (保健師)

- ・グループワークを通して各職種から意見を聞くことができて良かったです。また、まとめとしての稲福先生のレクチャーを聞いたことで、より専門的なアプローチを学ぶことができました。

### (言語聴覚士)

- ・多職種からの様々な意見を聞くことで、今後のケアに活かしていきたいと思います。

### (福祉用具専門相談員)

- ・改めて認知症のことを学ぶのは良いことだと思いました。医療ばかりに走りすぎて、「その人」を見ることを忘れていた方が多いように思いました。
- ・現場で認知症の方と関わって、うまく行く対応できた話しなど聞いて勉強になりました。薬的な内容は、今一頭に入っていないのですが、各種の専門が集まれば、こんなにも多角的にフォローができていけるんだと改めて実感しました。

### (社会福祉士・医療ソーシャルワーカー)

・BPSDのアプローチ(アセスメント)をしっかり行い、本人に合わせた支援を実施していくには、多職種との連携が重要だと感じました。

・ケアマネジャーや理学療法士、薬剤師の方と1つのケースについて議論することができ、とても勉強になった。

・事例検討でアプローチの視点、多職種との連携が大切だと感じた。

・課題と回答(解説)があり、とてもわかりやすく、今後自分たちの勉強会にも活かしていきたいと思いました。

・職種によって意見が異なるため、支援者ありきな支援になることなく、本人・家族のための専門職の知識提示と、本人・家族の自己決定を大切にできる支援ができる支援者でありたいと思った。

・他職種のアプローチを聞くことは知識も増え、とても勉強になります。

・色々な職種の方の意見が聞けて新鮮な考えが生まれた。新しい言葉を覚えた。

### (介護支援専門員)

・他職種の意見が聞けて良かったです。

・多職種で行うことの大切さを感じました。

・専門職のそれぞれの視点が学べました。地域・治療・主介護者・ご本人のお気持ち、配慮することに気付かされました。

・ケアマネジャー以外の視点が聞けて良かった。

・いろんな職種の意見が聞けて良かったです。

・同じ専門職であっても、意見の違いが見られて良かったと思う。また、同じ専門職はその視点らしいことも感じられ、面白かったです。

・他職種の視点、アプローチ方法の意見が聞けて勉強になりました。

### (介護福祉士)

・違う職種にてケアカンファレンスできて良かった。

(その他) \* 医療事務、製薬会社スタッフなど

・ドクターから直接話しが聞けて大変勉強になりました。

・いろんな職種の方の意見が聞けて良かった。専門的な観点から意見・考えがあり、多職種が集まり取り組むことが、在宅医療には大変必要だと感じた。

・ケアマネジャーさんも一緒にグループで、いろいろ情報を聞くことができたので、勉強になりました。

・チームで1人の患者様のことを考えていけば、もっと、きっと良い在宅医療ができると感じました。

・多職種、多視点からのご意見を聞くことができ、今後の参考になりました。講義のみではなく、自らがグループワークをし、意見を出すことの重要性も感じました。